

1 当課の主な業務は次のように定義されます。		
・良好なまちづくりのための、様々な計画の策定に関すること ・開発許可及び建築関係等の事務に関すること ・都市施設や町道、河川の整備及び維持管理に関すること ・町道等の管理及び占用等に関する事務に関すること		
2 当課の業務は次の方々のために行われます。		
現在、毛呂山町に住んでいる、或いはこれから毛呂山町に住む皆さんのために。そして、毛呂山町を訪れる全ての皆さんのために。		
3 当課の掲げる数値目標と、その根拠は次のとおりです。		
目 標 名	企業誘致の基盤となる区域の指定	
指 標 名	産業系土地利用区域の面積	
数値目標	初期値（平成30年度）	18.2ha
	現状値（令和4年度）	18.2ha
	目標値(令和5年度)	20.0ha
	最終目標値(令和6年度)	30.0ha
設定根拠	第五次毛呂山町総合振興計画後期基本計画	
事業概要	毛呂山町都市計画マスタープランの推進を図ります。	
4 目標達成に向けた取り組みにより、次の効果が期待できます。		
自然や環境、景観などの地域特性を活かすとともに、社会経済情勢の変化に対応した調和のある土地利用を図ることが期待できます。		
5 昨年度の取り組みの反省点は次のとおりでした。		
産業基盤となる候補地について関係各所と協議を実施してきましたが、目標達成には至りませんでした。		
6 当課は掲げた目標達成のために、次の取り組みを行います。		
産業基盤となる候補地について、関係各所との連携により農振農用地の調整等を進めていきます。		

1 当課の主な業務は次のように定義されます。		
<ul style="list-style-type: none">・良好なまちづくりのための、様々な計画の策定に関する事・開発許可及び建築関係等の事務に関する事・都市施設や町道、河川の整備及び維持管理に関する事・町道等の管理及び占用等に関する事務に関する事		
2 当課の業務は次の方々のために行われます。		
現在、毛呂山町に住んでいる、或いはこれから毛呂山町に住む皆さんのために。そして、毛呂山町を訪れる全ての皆さんのために。		
3 当課の掲げる数値目標と、その根拠は次のとおりです。		
目標名	安全で快適な生活道路の整備	
指標名	道路の改良延長	
数値目標	初期値（平成30年度）	135,617m
	現状値（令和4年度）	135,946m
	目標値（令和5年度）	135,981m
	最終目標値（令和6年度）	137,900m
設定根拠	第五次毛呂山町総合振興計画後期基本計画	
事業概要	町道の整備を進めます。	
4 目標達成に向けた取り組みにより、次の効果が期待できます。		
町の軸となる幹線道路や補助幹線道路を整備することにより、町内の移動円滑化が図られるとともに、狭隘道路の拡幅や側溝・舗装の整備により身近な生活道路の安全性・快適性が確保されます。		
5 昨年度の取り組みの反省点は次のとおりでした。		
適正な道路整備は住民生活を支えるとともに、交通の円滑化に資するものですが、事業費の財源確保が課題となっています。		
6 当課は掲げた目標達成のために、次の取り組みを行います。		
歳出面では建設事業コストの圧縮に努めると共に、歳入面でも国庫補助金の充当や起債制度の適用等による町財政負担の軽減に努めます。 その上で計画路線の事業化に向けて土地権利者への説明、事業用地の取得、関係機関との協議等を進めていきます。		

令和5年度 目標設定書 (まちづくり整備課)

まちづくり整備課長 山口 貴 尚

1 当課の主な業務は次のように定義されます。		
<ul style="list-style-type: none"> ・良好なまちづくりのための、様々な計画の策定に関すること ・開発許可及び建築関係等の事務に関すること ・都市施設や町道、河川の整備及び維持管理に関すること ・町道等の管理及び占用等に関する事務に関すること 		
2 当課の業務は次の方々のために行われます。		
現在、毛呂山町に住んでいる、或いはこれから毛呂山町に住む皆さんのために。そして、毛呂山町を訪れる全ての皆さんのために。		
3 当課の掲げる数値目標と、その根拠は次のとおりです。		
目 標 名	快適な生活と河川の水質保全	
指 標 名	公共下水道処理区域	
数値目標	初期値 (平成30年度)	408.1ha
	現状値 (令和4年度)	433.3ha
	目標値 (令和5年度)	438.3ha
	最終目標値 (令和6年度)	456.9ha
設定根拠	第五次毛呂山町総合振興計画後期基本計画	
事業概要	毛呂山・越生・鳩山公共下水道組合が実施している事業であり、快適な生活と河川の水質保全を図ります。	
4 目標達成に向けた取り組みにより、次の効果が期待できます。		
河川などの水質保全が期待できます。下水道工事を行い安心安全、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造します。		
5 昨年度の取り組みの反省点は次のとおりでした。		
昨年度の目標値 (431.0ha) は達成しましたが、最終目標値の達成には至りませんでした。引き続き、最終目標に向けた計画的な工事発注、工事コストの縮減及び品質向上に努めます。		
6 当課は掲げた目標達成のために、次の取り組みを行います。		
目標整備面積を達成するため、社会資本整備交付金の確保及び工事費等のコスト縮減を行います。		